

こうち+クロス

高知赤十字病院
広報誌

ご自由に
お持ち帰りください



高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

患者さんの権利

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 患者さんの権利
- 医療における「子どもの権利」
- 障がいがある方の権利

患者さんの責務

当院では、患者さんの権利を尊重するとともに、協力もお願いしています

詳しくは当院ホームページをご覧ください
<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/about/about.htm>



新年のご挨拶

高知赤十字病院長 溝渕 樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様に新年のご挨拶をさせていただきます。今年は午年です。午年の勢いにあやかり、力強く前進する1年にしていきたいと考えています。

私は4月に院長となり、まだ1年も経過していませんが、就任後から様々な課題に取り組んできました。しなければならぬ課題はたくさんあり、まだ手をつけられてないことや、十分に進んでいないこともあります。そこで、新年にあたりもう一度、使命と理念に立ち返り業務にあたろうと考えています。

日本赤十字社の使命は、「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」です。スローガンとして「人間を救うのは、人間だ。」としています。当院の理念は「愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。」です。DXやAIが職場に導入される時代になっても、この精神を忘れず、日常の業務にあたるべきだと思います。DXやAIが導入されても人にしかできない仕事があります。職員は、患者さんを助ける気持ちを第一に業務にあたることで、患者さんに信頼され選んでもらえる病院を目指します。

今後、少子高齢化が急速に進んでいる高知県では病院は地域のニーズに合わせて変化を求められます。救急搬送患者はさらに高齢化することが予想され、救命救急センターで受け入れ後、クリニックや療養病院との連携が欠かせなくなります。地域全体で連携し医療体制を維持していくことが必要です。また、災害が発生した際には、当院は広域的な災害拠点病院として赤十字病院としての責務を果たします。

職員確保、病院経営と課題は多くありますが、引き続き地域で愛される病院を目指して職員一同業務にあたりますので、よろしく願いいたします。



高校生を対象とした体験会

「医療体験ラボ3」を開催しました

9月28日(日)に開催した『医療体験ラボ』は高知赤十字病院とテレビ高知が企画し、今回で3回目の開催になります。

医療の道を志す県内の高校生12名が参加し、手術室ではシリコンチューブを使って血管を縫合するシミュレーションをしたり、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を実際に操作したりしました。また、内視鏡室では最新の胃カメラを体験してもらい、薬剤部では患者に合わせて正確に調剤することの大切さを学んでいただきました。その他に一般検査や超音波検査も学んでいただきました。

参加した高校生は実際の医療を身近に感じてくださったようで、「手術の体験では、器用さが大事になって思いました。」「やっぱり医師はすごいな!」「将来、高知県の医療に携わりたいと思っていて麻酔科のお医者さんになりたいと思っているので、今回の体験を将来役立てたいと思いました。」などの感想が出ていました。

今回の参加者は、将来医療の道を志す高校生ばかりでしたので、スタッフの説明を熱心に聴き入り、真剣に一生懸命に取り組む姿が印象的でした。



まちのおしごと体験 in イオンモール高知

9月20日(土)、イオンモール高知で開催された「まちのおしごと体験」イベントに、当院から「看護師・薬剤師体験」で参加しました!

看護師体験では、白衣を着て聴診器で心音を聴いたり、血圧測定、人形の赤ちゃんを抱っこするなど、医療の現場を楽しく学びました。

薬剤師体験では、カルピスを使った水薬の調剤や、色付きワセリンを混ぜて軟膏づくりに挑戦!

子どもたちは真剣な表情で取り組み、笑顔いっぱいになりました。

この体験を通じて、将来医療の道に進むきっかけになれば嬉しいです。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました!



高校生ボランティアグループ「Knltter's」のメンバーさんが、認知症ケアの一環として心を込めて作ってくださった“マフ”を届けてくれました。

おひとりで来院され、少しの時間でしたが、優しい気持ちがいっしょに伝わってきました。

手作りのマフには、たくさんのおもひやりとぬくもりが詰まっています。

若い世代が地域や医療に関心を持ち、温かい活動を続けてくれていることをとても嬉しく思います。

Knltter'sのみなさん、素敵な贈り物をありがとうございました。

マフを手渡してくださった様子です。



ハイ、チーズ!



江ノ口保育園 さくら組のかわいい13名の園児さんが、勤労感謝の日になんで花束贈呈に来院してくれました。

江ノ口保育園では例年、地元で働く方に日頃の感謝の気持ちとして花束贈呈を行われています。いただいたお花は各部署で愛でて、癒しをもらっています。園児のみなさん、保育所の先生方ありがとうございました。



かわいい〜♡



日本赤十字社高知県支部 災害医療救護訓練に参加して

臨床研修センター 川越 崇弘

令和7年度日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練に参加させていただきました。貴重な訓練の機会の準備およびご指導を賜り、講師の皆様、赤十字高知県支部の皆様を含めた関係者の皆様に御礼を申し上げます。

今回の訓練では、DIGや実動訓練などを行いました。印象的だったのは、避難所での情報収集を想定した実動訓練です。患者様への問診に通ずるところがあり、要点をおさえた聞き方をするだけでなく、被災者の皆様の気持ちに寄り添う接遇が必要であると感じました。被災者の皆様の精神的な疲弊はすぐに解消されない状況です。そのうえで時々刻々と変化する状況に対応することを強られるのだと感じました。医師として、被災者の皆様の求める医療活動や支援を主眼に置いてお話を傾聴すること、支援内容といつまでにできるのかを明確に伝えることが重要だと勉強になりました。実際の災害現場での体験談を聞くことができ、有意義な訓練となりました。



5階東病棟 畑山 咲季

災害医療救護訓練を通じ、災害救護の本旨と実務の流れを学びました。訓練は大きく四つの柱から構成され、事前課題として配布された資料の確認とオンライン講義視聴を行い、急性期の初期対応を支えるアセスメントの基礎を学びました。気道・呼吸・循環・意識・体温などの評価が、以降の研修の基盤となりました。次に、広域災害・遠隔地派遣を想定したグループワークにより、災害直後の混乱下での出動準備と意思決定の要点を学びました。三つ目の机上シミュレーション(DIG)では、高知県を地域区分し、津波発生時の患者搬送を議論、現場との連携の具体像を話し合いました。これらの知識を踏まえ、最後に実動訓練へ臨み、実務の動線と役割分担を体感しました。南海トラフ地震への備えを見据え、救護班の理解が深まりました。今後、習得した知識と経験を現場で活かしていきます。



『空港航空機事故対応総合訓練に参加しました』

第1放射線科部 核医学係係長 高橋 健次郎

令和7年10月24日、高知龍馬空港で航空機事故を想定した総合対応訓練がおこなわれ、当院からはDMAT(災害医療派遣チーム)5名が参加しました。訓練は、航空機の緊急着陸後に火災が発生したという想定で、多くの関連機関が連携して実施されました。

当院DMATは、救護所で傷病者の初期対応や状態の安定化、情報の記録・伝達、搬送依頼などを担当しました。実際の災害現場を想定した環境の中で、役割分担や動線確保、無線での連絡など、迅速で正確な対応の重要性を改めて実感しました。

今回の訓練を通じて、他機関との連携強化や課題の確認でき、災害医療活動の質向上につながる貴重な機会となりました。今後も大規模災害への対応を目指した訓練や研修への参加を通じて災害医療体制の充実に努めてまいります。

航空局
第2救護所



2025 院内災害対策訓練(5ブロック各県支部 合同災害救護訓練合同開催)実施

医療事業・広報課

去る令和7年11月9日(日)に、2025院内災害対策訓練を実施しました。関係職員
の皆さん、お疲れさまでした。

今回の訓練は、5ブロック各県支部合同災害救護訓練との合同開催のため、その
想定に合わせて訓練をすることで発災2日目というフェーズとなり、今までの「初
動」に重点を置いた訓練では気付くことのなかった様々な課題にも直面しました。
また、実際に5ブロックからの救護班を受け入れる訓練も行うことができ、初見の
場でいかにして貴重な人員を適所へ配置するか、その為にはどのような配慮をすべ
るか、受援側の準備の必要性がよりはっきりとしました。さらに、ベッドコントロール
チームの検証については概ね高評価であり、今後もこの体制で進める方向で災害対
策本部に組み込むこととしました。

今後は当訓練で得た「課題」を、いかに最適解に近づけクリアにしていくかが大切
で、今後も検討を重ね、マニュアルへの落とし込みや次回の訓練に
活かしていこうと思います。

最後になりましたが、訓練開催に当たりご協力いただきました近
隣秦地区の皆さま、高知県立大学および龍馬看護ふくし専門学校の
学生の皆さまに心より感謝申し上げます。



シーズン 防災season

～当院の防災の取り組みや考え方を紹介します～

No.15

6東病棟 楠瀬 美紀、藤村 智加

みなさん、「高知県防災アプリ」をご存知でしょうか？

高知県は全国でも災害が多い地域であり、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への備えが重要です。その中で県が提供している「高知県防災アプリ」はいざという時に役立つ情報をスマートフォンで簡単に確認できる便利なツールです。

このアプリでは、気象警報や地震・津波情報をリアルタイムで受け取ることができ、避難所の開設状況や現在地からの避難経路も表示されます。

また、ハザードマップや安否情報・確認機能もあり家族との連絡手段にも活用出来ます。

普段からアプリを入れておくことで、防災情報を日常的にチェックでき、自宅や職場での備えにも役立ちます。

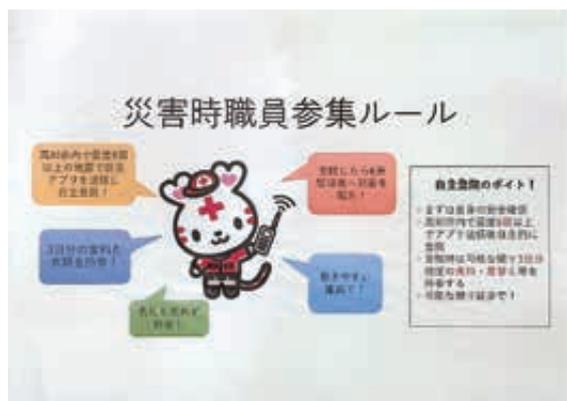
大規模災害が発生すると、輻輳の連鎖による大規模な通信障害などにより、職場はもちろん、家族や友人との連絡ができなくなることがあります。電話番号やメールアドレスが必要となる災害ダイヤルやSNSと違い「高知県防災アプリ」では、個人情報登録しなくても安否を共有できるのが大きな特徴です。

当病棟(6東)では、今年度よりこのアプリを用いた連絡方法を導入し、7月から毎月訓練を実施しています。3回行い参加率は57%以上となっています。

登録内容は①自分の安否②現在の居場所③今後の出勤の可否④登院までの徒歩での所要時間の4点です。これにより、管理者やリーダー・看護師はすぐに状況を把握でき迅速な対応につなげることができます。導入したばかりであり、まだ周知が十分ではありませんが、全スタッフが使用方法を習得できるように今後も毎月訓練を継続していく予定です。

また、6東病棟では、その他の防災への取り組みとして、防災訓練の実施や病棟での非常食の準備・防災棚の整理・災害時職員参集ルールの掲示など防災に向けた様々な取り組みを行っています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃からの備えとして、ぜひ「高知県防災アプリ」をインストールし、活用してみたいかがでしょうか？



やっぱり水は大切です♡



おにぎりは4種類あります♡



パンも3種類ありますよ♡



リフレッシュ研修

看護部 教育委員長 濱田 多得

10月31日、新入職員を対象とした、「リフレッシュ研修」を開催しました。

入職から半年が経ち、ちょっと疲れも溜まりがちなこの時期、心と体をリフレッシュし、仲間との絆を深めることを目的に、屋内外での活動を行いました。

あいにくの雨の中貸し切りバスで病院を出発し、香北青少年自然の家に着。

午前は、体育館で赤・白に分かれてミニ運動会を開催。笑顔と笑い声があふれ、普段とは違う表情も見られました。お昼には、小学校以来のカレー作りに挑戦。中身

をこぼしてしまうハプニングもありながら、美味しいカレーができあがっていました。午後からは、グループで協力し、町の地図作りゲームを行いました。

看護師、理学療法士、栄養士、検査技師、臨床工学技士、事務職員の参加があり、職種を超えた交流を通して同期のつながりが深まり、「また明日から頑張ろうと思えた」「同期と過ごす時間、楽しかった!」という声が聞かれ

笑顔あふれる1日となりました。

これからも、一人ひとりがいきいきと働き、成長できるよう、サポートを続けていきます。



ミニ運動会



カレー作り



地図作りゲーム

現在の医療はチーム医療が推進され、医師や看護師をはじめ多くの医療スタッフが協力して患者の診療を行っています。その中で欠かせないのが、診療の内容を正確に記録し、管理する「診療情報管理士」の仕事です。診療情報とは、カルテ(診療録)や検査結果、画像データ、手術記録、看護記録など、患者の診療に関するすべての記録(情報)を指しており、これらの情報を適切に取り扱うことが、安全で質の高い医療の提供につながるとされています。当院では、医療情報管理課の診療情報管理係として5人が配置され、日々作成されている診療情報を管理しています。



診療情報管理の主な内容は、次のような業務となっています。まず、診療録(カルテ)の点検を行い、必要な書類の有無、記入もれや誤りがないかの確認を行います。そして、電子カルテ等のデータから、病名、手術の術式などを国際疾病分類(ICD)に基づきコーディングし、必要に応じて統計データを作成します。また、診療情報の取り扱いに関するルールを整備し、医療スタッフへの研修を行うことも重要な仕事です。これらの業務を通して、医療の質を担保できるように日々業務を行っています。

電子カルテの導入が進み、診療情報のデジタル化が進展しています。これにより、情報の共有や分析

が容易になった一方で、サイバー攻撃や情報漏えいなどのリスクも増えています。そのため、セキュリティ対策やアクセス管理の強化が今後の重要な課題となっています。さらに、診療情報をデータとして活用し、医療の質を統計学的に評価する取り組みも広がっています。これらの新しい流れに対応するため、診療情報管理士には、情報技術やデータ分析の知識も広く求められるようになってきました。

診療情報管理係として、当院の医療の質向上に少しでも貢献できるよう、今後も努力し、業務を行っていきたくと考えております。



土佐長岡郡・香美郡医師会生涯教育講演会を開催しました

毎年がんをテーマに開催しており、今年度第2回は、土佐長岡郡・香美郡医師会と共催で、11月26日(水)18:30~19:30、JA高知病院にて開催することができました。

消化器内科大家医師からは「当院でのルタテラ治療の現状~運用、適応、紹介方法などについて~」、外科岡本医師からは「増えている大腸がん いろんな

治療法があります」についてお話をいただきました。

「初めて聞く治療法で学びになった」「大腸がんについて詳しく分かりやすくとでも勉強になった」「動画での説明が良かった」などの感想をいただきました。多くの皆様のご参加どうもありがとうございました。



コードブルー(心肺停止などの院内緊急コール)を導入しました

コードブルーワーキンググループ 井上 和代



当院では、急変時に迅速かつ安全に対応するため、院内緊急コール「コードブルー」を、4月から導入しました。コードブルーは、患者さんに心停止や呼吸停止などの緊急事態なである“もしものこと”が起きたとき、医療スタッフがすぐに駆けつけて対応できる仕組みです。この体制を整えることで、緊急時のスタッフ同士の連携がよりスムーズになり、安心して過ごしていただける環境づくりにつながると考えています。



24時間、スムーズなコードブルー対応ができるよう、毎月各部署のコードブルーシミュレーションを行っています。院内にいる多職種で対応できるように、対応の流れの確認を積み重ねていま



す。これからも、安全で質の高い医療を提供するため、体制の整備と職員教育に取り組んでいきたいと思



第63回大韓病理士総合学術大会および国際カンファレンス

生体検査課 高野 静香



9月中旬に韓国の蔚山広域市で開催された「第63回大韓病理士総合学術大会および国際カンファレンス」に参加してきました。昨年に続いて2度目の参加で、今年



は「Initiatives for the Prevention of the Diabetic Complications in Collaboration with Local Clinics」と題し、地域のクリニックと連携した当院の糖尿病合併症精査と指導の取り組み「糖尿病センター」の内容と糖尿病合併症の現状についてポスター発表を行いました。近年、世界の糖尿病人口はアジア太平洋地域で急速に増加して

います。これには、欧米人に比べてアジア人はインスリンの分泌量が少ない、分泌が遅

るなどの要因が関係していると考えられています。糖尿病合併症は自覚症状がないままに進行することが多く、まずは検査を受けて自分の状態を把握し自己管理に生かす事が肝要です。韓国の技師仲間ともディスカッションでき大変有意義な時間が持てました。来年はIFBLS(国際臨床検査技師連盟)の学術大会が日本で開催されます。世界の臨床検査技師達の発表を聴講するのがとても楽しみです。





★ 研修医一年目のご紹介 ★

RESIDENT INFORMATION



しおたに まな
塩谷 真奈 (高知大学卒)

医師を志したきっかけは？

かかりつけの先生に憧れて医師になりたいと思うようになりました。親身になって話を聞いてくれる先生で、私もそんな医師になりたいと思っています。

これが好き♡

趣味はカラオケです。休みの日に一人でカラオケに行き、その時歌いたい歌を思う存分歌っています。



私、スゴインですよ

歩くのがとても速いです。スマートフォンのアプリで見ると、時速7kmくらいの時もあるようです。最近は運動不足でスピードが落ちているので、しっかり運動して衰えないようにしています。

研修への意気込みを ひとこと★

的確な診断・治療を行うだけでなく、患者さんに寄り添う医療を行いたいと思っており、患者さんとのコミュニケーションを大事にしながら、初期研修医として学ぶべきことをしっかり学んでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。



ほっち はるか
發知 陽花 (愛媛大学卒)

医師を志したきっかけは？

私は小学1年生の時に弟の出産に立ち会い、生命の誕生に感動するとともに、弟は仮死状態で生まれたため安全なお産の難しさを知りました。そこで母子の命を救う産婦人科医になりたいと思い、医師を志しました。

これが好き♡

温泉が好きです。高知に来るまでは愛媛の道後温泉の近くに住んでいたため、温泉でアルバイトをして毎日のように温泉に入っていました！露天風呂と炭酸風呂とサウナがあるとうれしくなります♪温泉の後に食べるおでんも最高です！



私、スゴインですよ

グルメ巡りが趣味で、愛媛の美味しいお店はほとんど知っていると言っても過言ではありません(笑)。高知は美味しい居酒屋がたくさんあるので、これからたくさん巡りたいです。苦手なものは特にないので、おすすめのお店があればぜひ教えてください！

研修への意気込みを ひとこと★

将来希望する診療科に関わらず、日々の診療を通して多くのことを学び成長していきたいと考えております。患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、信頼される医師を目指して頑張りますのでよろしくお願いたします。

当院は臨床 研修病院です

研修医が外来や病棟において皆さまの診療をさせていただきますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

臨床研修の理念

医師としての人格をかん養し、医学及び医療の社会的な役割を認識し、基本的な診療能力を身につけることで、地域社会で愛され、親しまれ、信頼される医師を目指す。

臨床研修の基本方針

1. 将来専門とする分野にかかわらず医師として必要な基本的診療能力を身につける。
2. 高い倫理観、他者と協調できる人間性、組織の一員としての社会性を身につける。
3. 患者と家族の多様な価値観や自己決定権を尊重し、信頼関係を築く能力を身につける。
4. チーム医療の一員であることを理解し、他の職種と連携する姿勢を身につける。
5. 社会的使命を自覚し、社会や医療情勢等に配慮した医療の提供に努める。
6. 科学的根拠に基づいた質の高い医療の提供のため、常に資質・能力の研鑽に努める。
7. 地域の中核病院として、救急医療・地域医療・災害医療の推進に努める。

第17回高知赤十字病院 地域連携意見交換会

地域医療連携課

11月9日当院主催による地域医療連携意見交換会を、ザ クラウンパレス新阪急高知で開催しました。会には地域でご活躍の先生方や地域医療連携室の職員の皆様方にご出席いただき、院内参加者と合わせて160名で盛会となりましたこと、改めて御礼申し上げます。

日頃の診療における課題や連携のあり方について活発な意見交換が行われ、地域の先生方との絆を一層深めるとともに、医療の未来を見据えた新たな視点を共有することができました。

今後も当院は地域医療連携の充実に向け、積極的に連携を推進してまいります。



地域の先生方へのご挨拶について

地域医療連携課 野本 由記

脳神経外科溝淵医師と地域でご活躍されている先生方へ、表敬訪問させていただきました。構原病院や大正診療所では、若い院長先生に温かく迎えていただき、終始和やかな雰囲気の中で交流することができました。

日頃の診療に対する感謝をお伝えするとともに、困りごとなどを聞かせていただき、当院が少しでもお手伝いできればと患者さまの安心につながる地域連携について意見交換を行う貴重な機会となりました。

地域の先生方との交流を通じて得られたつながりを、今後の診療や院内外の活動に活かしていきたいと思っております。



新入職員紹介 (同意の方のみ掲載)

(令和7年10月1日～令和7年11月30日)

氏名・職種・所属

- 趣味・特技
- 抱負
- 地域の先生方へ (医師のみ)



中西 颯斗 なかにし はやと
医師(内科)

- 読書・映画鑑賞
- 徳島から来ました医師の中西です。高知は初めてで不慣れなことも多く、ご迷惑お掛けするかも知れませんが、誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。
- 呼吸器内科の中西です。医師4年目で未熟な点も多いかと思いますが、よろしくお願いいたします。



阿部 雄大 あべ ゆうだい
診療放射線技師(放射線科部)

- 好きな事は、犬と遊ぶことです。いつか大型犬と暮らすのが夢です。
- 少しでも早く高知赤十字病院での仕事を身につけて、皆様の役に立てるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

高知赤十字病院
ホームページ



<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/>

高知赤十字病院
Facebook



<https://www.facebook.com/krch.kouhou/>

高知赤十字病院
Instagram



<https://www.instagram.com/kochinisseki/>

Instagram
はじめました



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

